

患者や家族の負担軽減 はかるべき

連携し地域包括ケアシステムの 構築に努める



木村 洋子 議員
(日本共産党)

問 山田病院の仮設診療所においては、入院施設がなかったため献身的に訪問診療に当たられ、地域医療の支えとなった。開院後は訪問から外来診療に切り替わった患者もいるようだが、家族介護の現状を踏まえた無理のない対応をすべきと考える。実態と町の対応は。

佐藤町長 山田病院では4月から訪問診療の見直しを行い、訪問診療対象者を支援検討会で決定する体制にした。入院機能の再開に伴い適切な医療が効率的に提供できるよう検討を進めている。町としては、必要な患者に訪問診療が継続できるようにお願いしている。

問 山田病院に売店が無



地域医療の中心となる県立山田病院

いたため患者や家族が不便をしている。どうなっているのか。

町長 病院側では建設工事に際し、町内の関係団体と出店に係る協議を行ったが採算面から出店を希望する事業者は無かったと聞く。現在、病院内ではワゴン販売が行われているが、定期的な訪問が可能な事業者があれば積極的に受けたいとのことである。

一般質問

子育て支援

実態調査し 支援行っていくべき

実情を把握するのは重要 今後検討する

問 貧困と格差が拡大し子どもの6人に1人が貧困ラインを下回る社会に

なっている。とりわけ「ひとり親世帯」の子ども

の貧困率が高い。当町に

においても子どもの貧困の実態を調査し、現状に即した生活支援を行っていくべきでは。

町長 今後の子育て支援策を検討する上でも、実情を把握することは重要であり、実態調査の実施については今後検討していく。

就学援助制度

入学準備金 入学前に渡すべきでは

今後検討する

問 就学援助は誰でも申請しやすい状況になっているか。また入学準備金については、お金が必要な入学前に渡している自治体も増えてきているようだが、当町も入学前に渡すべきでは。

佐々木教育長 就学援助

制度については、広報や学校を通じて全ての保護者に周知している。援助を希望する保護者は、学校を経由して教育委員会に申請を出している。新入学児童生徒学用品費等の前倒し支給については、今後検討する。

その他の質問

◆新田橋付近で鉄板等が山積み
の場所は環境等への影響が無い